



# Rainbow letter

2018.6  
No.15

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

## 研修会開催のご案内

研修・教育委員会では、周産期メンタルヘルスに関する最新知識の共有と技術の向上に向け、研修会を企画・実施しています。2013年までは学術集会翌日に研修会を開催していましたが、2014年からは学術集会会期が2日となり、開催しておりませんでした。

昨今、周産期メンタルヘルスが注目され、医療スタッフの方々は様々なことを考えながら、日々の臨床を実践しておられると存じます。しかしながら、昨年ガイドライン、マニュアル、コンセンサスガイドが発表されましたが、理解するだけの時間がなく、どのように臨床に活用してよいかわからないといった声も耳にします。

そこで今回は、妊産婦さんが必要とするケアをスムーズに受け、安心して過ごすことができるような、医療者として当たり前の配慮、“寄り添う”ための体制づくり、信頼関係の構築といった基本スキルを学び、ともに考える場となる研修会を企画いたしました。

学会員の皆様には先行して開催案内をメールしております。7月以降は学会Webサイトにて非会員の方々にもご参加を呼びかけます。申込受付は先着順で、定員になり次第、締め切ります。どうぞご了承ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

今回の研修会は基本的な内容としており、本格的な予防・介入のためのスキルアップ研修はこれから順次、企画してまいります。「こんな研修を企画してほしい」といったご要望があれば、ぜひ、学会事務局宛にご意見をお寄せください。（研修・教育委員会委員長・理事/新井陽子/北里大学看護学部生涯発達看護学准教授）

## 「周産期メンタルヘルス研修会2018」

日 時：2018年9月23日(日) 9:00~17:30

場 所：北里大学薬学部1号館 白金キャンパス  
(〒108-8641東京都港区白金5-9-1)

対 象：助産師、看護師、保健師、臨床心理士、医師など

参加費：午前3,000円、午後3,000円  
午前午後（特別価格・正会員のみ）5,000円

内 容：午前(企画Ⅰ)では①周産期メンタルヘルスの基礎知識(疾患の診断、治療など) ②ガイドライン、マニュアル、コンセンサスガイドの活用方法を学びます。  
午後(企画Ⅱ)では①②の知識をもとに具体的な支援を検討し、知識を深めるワークショップを行います。

企 画：日本周産期メンタルヘルス学会研修・教育委員会

☆ 詳しくは、開催案内メールをご確認ください

## ★★ 参加申込と一般演題募集を開始しました！ ★★

第15回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会

いま、あらためて「寄り添う」を考える

日 時：2018年10月27日(土)・28日(日)

場 所：神戸女子大学ポートアイランドキャンパス

大会長：玉木敦子(神戸女子大学看護学部看護学科教授)

★ 一般演題募集締め切りは7月16日(月)です

★ 多数のご応募をお待ちしております



## 事務局だより ～ 学会誌への論文投稿を募集しています

次号の学会誌Vol.4は2018年6月20日に発行いたします。7月中旬になってもお手元に届かない場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。

次々号Vol.5は2019年春頃の発刊予定で、**掲載対象となる投稿の期限は2018年9月末まで**です。投稿規定をご確認の上、締切日までにお送りください。当学会誌は助産師、看護師、医師、臨床心理士など様々な職種を対象としており、皆様の研究や臨床による知見を幅広くアピールしていくのに最適な学術誌です。どの職種からの投稿も歓迎しております。どうぞ奮ってご投稿ください。

## ( (投稿記事募集！) )

会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。

詳しくは学会Webサイト (<http://pmh.jp/index.html>、QRコード (→))

または、学会事務局 ([mental-3@hac.mie-u.ac.jp](mailto:mental-3@hac.mie-u.ac.jp)) まで。

\*企画・発行：日本周産期メンタルヘルス学会 事務局・情報関連委員会

